

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		男女共同参画の推進				所管	総務部 人権・男女共同参画課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	211	計画事業名	男女共同参画		
	長期総合計画体系	[基本目標] IV. パートナーシップの促進					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (1) 地域経営の充実					[事業開始] 昭和 6 2 年度	
		[施 策] ② だれもが互いに尊重しあえる社会の構築[72]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	法令(義務)		[法令等名]	男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律			
	事業対象	区内在住・在勤・在学者、事業主、公募企画委員、職員						
	事業目的	男女共同参画に関する学習や講座の実施、情報誌の作成などを行うことにより、男女がともにいきいき暮らせる男女共同参画社会の形成を促進する。						
	事業内容	①審議会等への女性委員参画の促進や職員の育成 ②ドメスティック・バイオレンス(DV)防止に関する啓発 ③男女共同参画推進に関する各種講座の実施 ④区民企画講座の実施 ⑤基調講演、団体ワークショップ、展示会からなる男女平等推進フォーラムの開催 ⑥公募委員による男女平等推進プラザ事業の実施 ⑦男女共同参画に関する情報等を掲載する情報誌の発行(年2回)						
	委託の有無	一部委託		委託内容	男女平等推進フォーラムワークショップ実施委託、男女平等推進フォーラム要約筆記委託、「はばたきプラン21」推進会議速記・録音・反訳委託、男女共同参画推進講座実施委託、講座開催時一時保育運営委託			
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	プラザで実施する講座数	回	19以上	19	21	22	
		意識啓発講演会参加者数	人	200以上	167	153	168	
	成果指標	講演会アンケートでの満足度	%	80.0	83.1	79.5	74.4	
		審議会等の女性委員の割合	%	30.0	24.2	26.1	24.8	
	決算額 (単位: 千円)				2,368	2,783	2,598	
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)			16,201	14,995	9,518	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			1,633	1,907	1,509	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			736	876	1,090	
		総経費			18,570	17,778	12,117	
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			9	10	6	
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			683	688	663	
		一般財源 (区負担額)			17,878	17,080	11,448	
前年度から改善した事項	はばたきプラン21に基づき、男女平等参画を阻害する暴力への取り組みの推進で重要な視点であるDV防止啓発への職員の理解を深めるため、「DV被害者支援職員研修」を実施した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	男女共同参画を推進していくためには、区民意識の向上が必要不可欠であり、より一層の地域に根ざした人材を育成する講座や事業を展開していく必要がある。					
	効率性	3	男女平等推進プラザでは、多くの事業を男女平等推進団体や区民と協働で行っており、満足度の高い講座を効率的に実施している。また、講座で託児を利用する区民が増加しているため、適切な保育サービスを提供している。					
	手段の適切性	2	男女平等推進プラザで実施する事業の多くは、企画段階から公募区民が参画しており、より区民のニーズに近いかたちで事業を展開しているが、より効率的・効果的な事業としていくためには、実施方法の一部見直しが必要である。					
	目的達成度	3	昨年度につづき、講演会アンケートでは受講者の高い満足度を得られている。今後も区民意識の向上に向け事業を展開していく。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性		
はばたきプラン21に基づき、引き続き、区民への意識啓発を積極的に行っていくとともに、より効率的・効果的な事業運営を図るため、男女共同参画推進講座の内容や実施方法の一部見直しを行う。						改善		
						拡大改善維持縮小廃止・終了		